



2010年度年間廃棄物排出量

店舗における廃棄物排出量

ユニーでは2003年より順次店舗に廃棄物計量器を設置し、全ての廃棄物を発生場所ごとに分別計量を実施しています。排出場所（売り場・テナント・その他）ごとに管理することで排出責任を明確にし、廃棄物発生原因を追究し、発生抑制に努めています。また、廃棄物も原料ごとに分別を徹底することで再生資源としての価値が上がり、リサイクルが進みます。2008年に合併した旧ユースタ全店に計量器の設置を進め、2009年度には全店設置が終了しました。

2010年度の廃棄物総排出量は、2009年比97.0%と、3%削減できました。分類別ではほとんどの種類で削減されましたが、若干増加したのもありました。段ボールが2009年度では前年比89.0%と大幅に削減できましたが、2010年度では98.3%と削減速度が落ちています。オリコンやクレートなどの通い箱は、国内での物流には導入できますが、海外生産商品に使うことは難しいようです。また、可燃ゴミ（分別できていない焼却ゴミ）から紙類を分別、再生資源化が進み、可燃ゴミが削減され再生できる紙が増えたことは、分別の徹底が進んだ表れといえます。

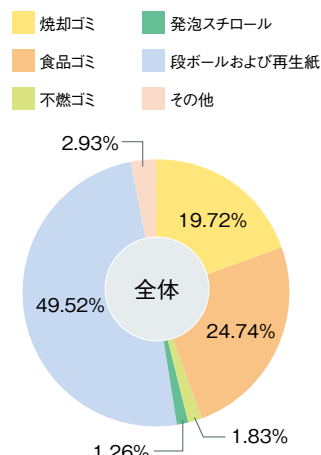
今後は、前年度に比べ廃棄物が増加した店舗で原因を追究し、発生抑制を進め、排出してしまった廃棄物はリサイクルを推進します。

廃棄物排出量

(単位:kg)

区 分	種 類	2008年度	2009年度	2010年度	前年比[%]
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,624,610	12,291,571	98.7%
		ビニール(食品系)	4,611,976	4,837,767	98.8%
		小計	16,236,586	17,129,338	98.7%
	食品ゴミ	生ゴミ	15,139,497	16,196,931	91.2%
		魚のアラ	3,917,146	4,052,794	91.6%
		てんかす	1,129,712	1,217,085	107.0%
		廃食用油	1,249,330	1,441,346	98.4%
		小計	21,435,685	22,908,156	92.6%
不燃ゴミ	ビン	807,775	961,344	1,034,530	107.6%
	缶	534,507	558,496	533,041	95.4%
	小計	1,342,282	1,519,840	1,567,571	103.1%
発泡スチロール		1,154,118	1,188,429	1,082,640	91.1%
段ボール および 再生紙	段ボール	46,204,748	41,127,317	40,441,290	98.3%
	紙類(再生可)	1,642,135	1,966,093	2,012,196	102.3%
	小計	47,846,883	43,093,410	42,453,486	98.5%
その他	プラスチック	527,375	502,768	477,839	95.0%
	ビニール(衣住系)	929,543	965,095	966,398	100.1%
	ペットボトル	270,022	320,172	370,258	115.6%
	陶器・ガラス	106,359	113,614	121,284	106.8%
	金属カス	168,866	181,303	152,504	84.1%
	その他	541,833	489,410	424,671	86.8%
	小計	2,543,998	2,572,362	2,512,954	97.7%
合 計		90,559,552	88,411,535	85,735,223	97.0%

廃棄物構成比率



廃棄物計量システム



● 廃棄物は排出場所・分別毎にバーコードで管理し、計量器に載せ、重量を計ります。



● シールを発行します。同時にデータは事務所の端末に記録、集計され、本社環境社会貢献部の端末に送信されます。テナントや売場には毎月集計された結果が告知されます。



● 計量した廃棄物は、それぞれ温度管理された廃棄物庫で保管されます。腐敗しやすい食品廃棄物などは冷蔵保管されます。